

空中映像と手指認識を用いた施設案内システムの開発

キーワード: 空中映像, 手指認識,

研究概要

近年, 三次元形状を表現するデバイスが数多く開発されている. その中に空中ディスプレイがある. 空中ディスプレイは, 液晶ディスプレイの映像を反射することでユーザに対して, 立体物が空中に浮いているような映像を提示することが可能な特殊ミラーである.

一方, 学校などの施設の構造を二次元地図で表現した施設案内図が存在する. しかし二次元情報では施設構造を立体的にとらえることは難しく, 多くの人々が触れる環境にあり不衛生である. そこで, 空中ディスプレイと手指認識センサを用いた施設案内システムを開発する. 3Dの施設を空中に表示させ, 空中映像を触れるように直感的に操作することで, ユーザは施設構造を立体的に捉えることができる.

